

H27.3.1在宅医療先進地域情報フェスタ2014  
日本ガイシフォーラム レセプションホール

# ゼロからはじめた在宅医療推進事業

～保健師ゼロ・予備知識ゼロの保健所が  
取り組んだ3年間の軌跡～

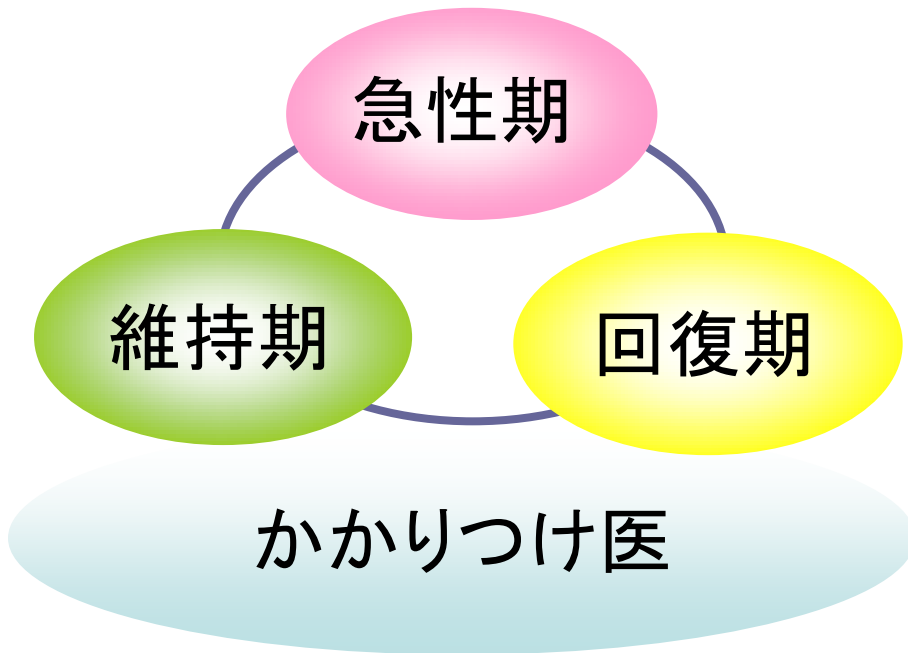
熊本市  
熊本県



# 「熊本方式」

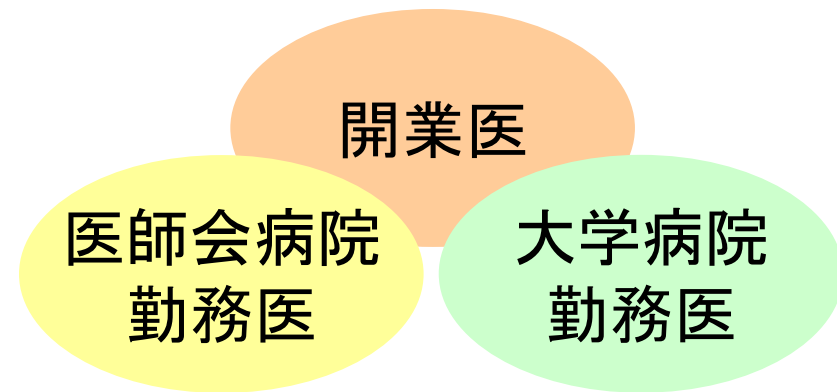
## ・医療機関の機能分化と連携

全国に先駆けた地域連携クリティカルパスの活用



## ・初期救急医療体制

休日夜間急患センターにおける医師集約の方法



三位一体の体制

# ◆ 熊本市のプロフィール

## ■ 熊本市の概要

- ◆ 平成24年4月1日、全国で20番目、九州で3番目の指定都市へと移行
- ◆ 九州の行政の中心として発展し、国の出先機関の立地多数、大学・医療機関が高集積
- ◆ 人口73万人を有しながら、上水道水源100%を天然地下水でまかなう日本一の地下水都市

### 熊本市の基礎データ (H27.2.1)

- 人口 734,775人
- 面積 389.54人/km<sup>2</sup>
- 人口密度 1886.3人/km<sup>2</sup>
- 世帯数 328,397世帯
- 高齢者数 172,867人
- 高齢化率 23.5%
- ⇒2025年 28.7%と推計

### 教育環境の充実

- 毎年24,000人あまりの人材を輩出する学園都市 (10大学、3短期大学、1高専、35高等学校、54専修学校)
- 理工系の学部・学科が充実しており、IT・バイオ技術等、多分野において豊富な人材
- 人口1万人当たり大学入学定員 82.3人 (指定都市20市中6位)



### 熊本市内の国の出先機関等

- 九州総合通信局
- 九州農政局
- 九州財務局
- 九州森林管理局
- 九州地方環境事務所
- 陸上自衛隊西部方面総監部

### 日本一の地下水都市

- 熊本市民の水道水源は100%地下水 (蛇口をひねれば天然ミネラルウォーター)
- 食品・半導体関連企業にとって重要な資源が豊富
- 地下水の取水割合 100.0% (指定都市20市中1位)
- 2013年国連生命の水最優秀賞受賞



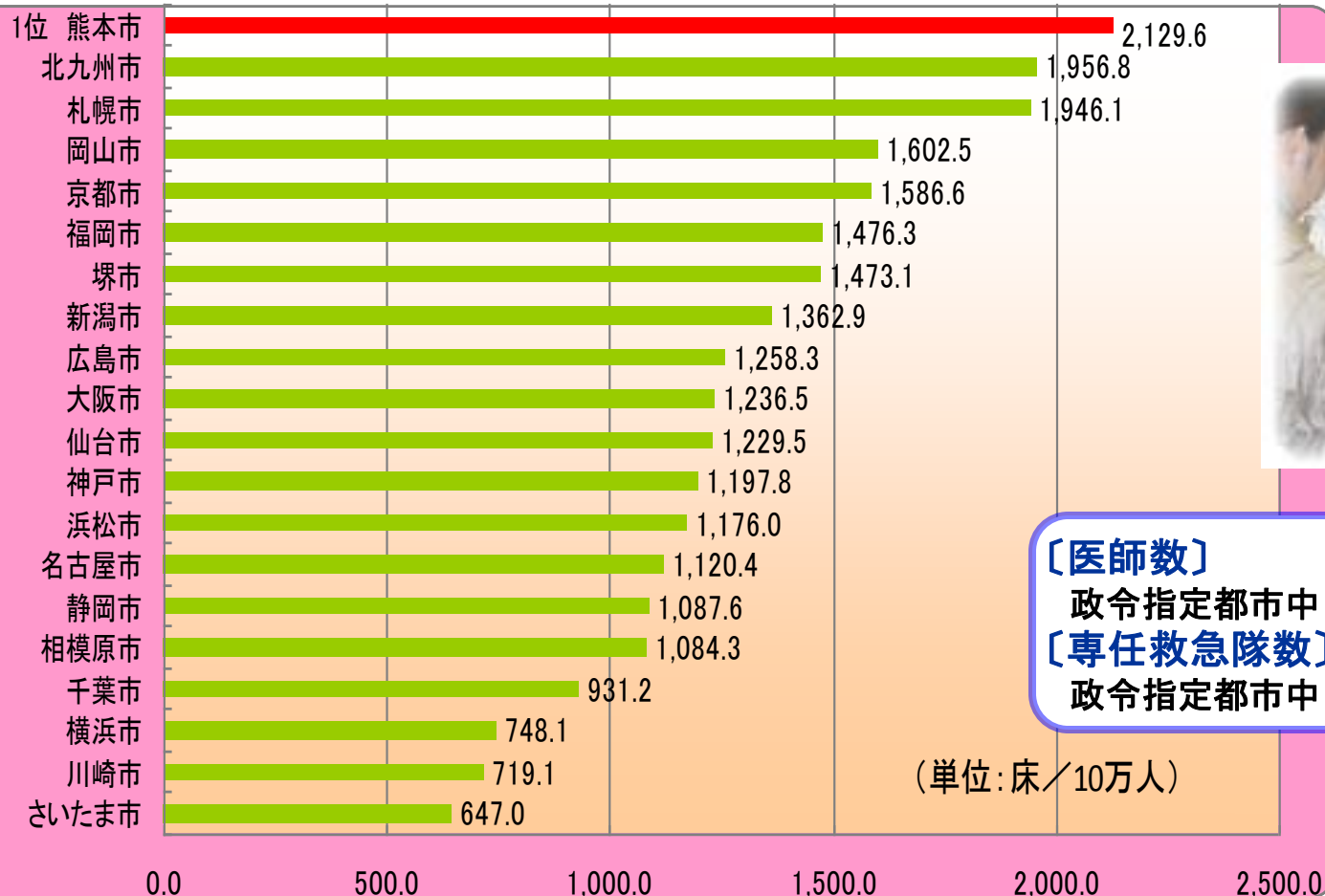
熊本オフィシャルウォーター  
「熊本水物語」

### 医療環境の充実

- 医療機関が高集積、医師数・救急隊数の充実
- 指定都市で唯一内科・外科・小児科の24時間診療体制を確立
- 人口10万人当たり医師数 378.5人 (指定都市20市中2位)

# 医療について(政令指定都市との比較)

## ◎人口10万人あたりの病床(ベッド)数(平成23年)



### 〔医師数〕

政令指定都市中 2位(378.5人/10万人)

### 〔専任救急隊数〕

政令指定都市中 2位(2.45隊/10万人)

出典及び算出条件:(病床数)厚生労働省「平成23年 医療施設調査」

# くまもと医療都市ネットワーク懇話会

- 挑戦元年アクションプラン

熊本が誇る高い医療水準や救急医療体制を活かし、熊本市内の医療関係者による「くまもと医療都市ネットワーク懇話会」を設置し先端医療都市としての魅力向上や医療サービスネットワークの構築を図ります。

- メンバー

拠点病院長、県市医師会、化血研、県・市、学識経験  
座長：市長

- 「くまもと医療都市2012グランドデザイン」の策定

- ・熊本市がこれから目指す10年後の医療の姿
- ・熊本市と懇話会が協力しながら推進していく

# くまもと医療都市2012グランドデザイン

「くまもと医療都市2012グランドデザイン」3本の柱

最先端の医療技術を発信する九州の医療拠点都市

機能分化と連携によって質の高い医療を提供できる都市

高齢者や障がい者などが住みなれた地域でいきいきと暮らせる都市



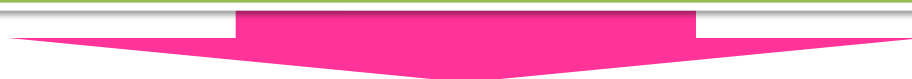
## 在宅医療提供体制の整備

きめ細やかな在宅医療・介護サービスの提供

医療サービスと精神的な支えの両面から生活を支援



在宅療養を望むすべての患者と家族が安心して生活できる社会



### 効果

- ・ (望む人は)心身の機能が低下した高齢者・患者であっても、自宅や地域で安心して暮らせる
- ・ (望む人は)がんの終末期や難病であっても、社会や家族との絆のなかで尊厳を持って生活できる

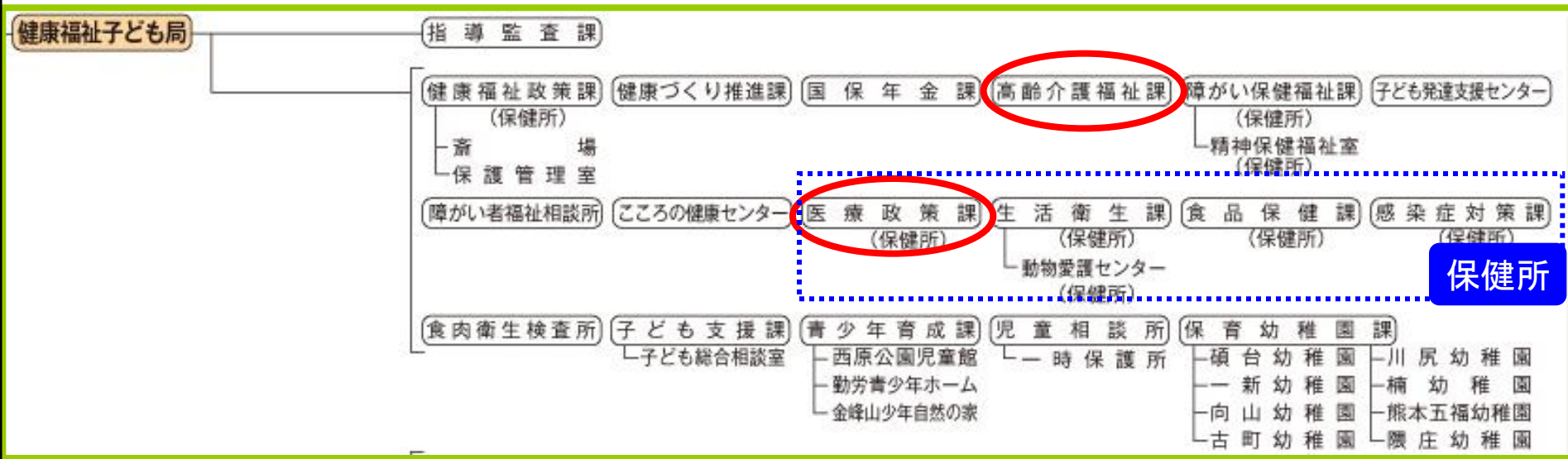
# 「在宅医療」がやってきた

- それまでの認識  
熊本市の医療環境は恵まれている
- 「在宅医療」って本当に必要？
- そもそも「在宅医療」って何だ？



# 担当課

## 熊本市健康福祉子ども局



### 医療政策課

医療

- 医療政策の総合的企画及び調整に関すること。
- 保健医療計画に関すること救急医療及び災害医療に関すること。
- 医事及び薬事の関係法令に規定する業務に関すること(医療施設の許認可及び指導監督を含む)。
- 難病に係る総合的企画及び調整に関すること。  
など

### 高齡介護福祉課

介護

- 高齢者に係る総合的企画及び調整に関すること。
- 高齢者福祉に関すること
- 老人福祉施設の設置認可、指導監督等に関すること。
- 介護保険及び介護保険料に関すること
- 地域包括支援センターに関すること
- 介護サービス事業所及び介護保険施設の指定及び指導監督に関すること。  
など



# まずやったこと

- キーパーソンを探し出すこと
- 信頼関係を築くこと
- つながること
- つなげること
- 楽しむこと



# 目指す姿「高齢者や障がい者が住みなれた地域でいきいきと暮らせる都市」の実現

## くまもと在宅医療・介護ネットワーク検討会

課題の整理、施策の方向性、具体的な連携策などについて検討を行う

### 【在宅医療連携拠点事業】

H24年度 厚労省モデル事業

H25~27年度 県補助事業

H28年度~ 庁内検討中

## くまもと在宅医療・ケア支援センター

### 相談窓口

市民や関係者からの在宅医療に関する相談に対応

### 多職種連携の支援

関係者が「顔の見える関係」を構築し、在宅医療提供体制の資質向上を図る

- 多職種連携研修会
- 地域包括ケア活動発表会

### 情報収集・発信

医療機関の取り組み状況を調査し、ホームページで公開

### 市民啓発

市民の在宅医療に関する理解を深める

- 市民講演会
- 出前講座
- 広報（ポスター、テレビ、ラジオ等）

## 熊本市医師会への委託（H26年度～）

- ①在宅医療に従事する医師の確保とその人材育成、②在宅医療を提供する医療機関の連携と患者の急変時の受入医療機関の確保、③医師会をはじめとする医療関係団体と介護関係団体間の多職種連携の調整、④在宅療養患者の情報を共有するツールの検討

## 在宅療養患者等の救急医療等に関する検討会（H25年度～）

患者の意思を尊重した人生の最終段階における医療の実現や在宅医療と救急医療の連携の推進を目指し、検討を行う

### 多職種連携の支援

地域によって医療・介護資源等にバラつきがある ⇒ 区毎の検討（H25年度～）

#### 区ごとの在宅医療と介護に関わる多職種連携

- 世話人会（地域の課題の検討、進行：医師会理事）
- 多職種連携研修会（地域の在宅医療・介護関係者が多く参加できる場の提供）

日頃、連携を行うレベルにおける多職種連携の充実に繋げたい

（例えば地域ケア会議の充実等）

※区ごとの世話人会では、地域住民への啓発や地域づくりに関する意見も聞かれ、「医療と介護の連携」のみにとどまらない意見交換が行われるようになっている。

# 幸運だったこと

## 熊本市医師会との関係

- 副会長との出会い
- 熊本在宅ドクターネットとの出会い

## 県との関係

- H24年度都道府県リーダー研修をきっかけに  
ともに取り組む姿勢が明確になった
- H25～27年度は県補助(在宅医療連携拠点  
事業)によって取り組みが継続できた

# 誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らせるために

## 日常生活圏域

### 地域包括ケアシステムの実現

在宅医療の推進

医療と介護の連携

インフォーマルサービスの創設

民間活力を生かした  
健康づくりと介護予防



## 区単位

区ごとのまちづくり

## 市全域

誰もが住み慣れた地域でいきいきと  
暮らせる熊本市の実現

